



日本慢性期医療協会 (指定研修機関番号：1513001)

特定行為研修修了者フォローアップ研修会

【日 程】平成30年10月27・28日(土・日) 【会 場】東京研修センター

平成27年10月に特定行為に係る看護師の研修制度が施行され、間もなく3年経とうとしております。早くから果敢に研修に取り組み、特定行為研修を修了された皆様のポテンシャルの高さは、すでに証明済みと言えるでしょう。

しかしながら、その能力を実際に発揮して、再確認できる機会が少なければ、せっかく身につけた知識や技術は日ごとに失われてしまうのもまた事実です。

そこで当協会では、特定行為研修修了者を対象としたフォローアップ研修を企画いたしました。プログラムは2日間にわたり、**シミュレーターを用いた実技研修と症例検討による実践演習(グループワーク)**の時間を十分設け、現場に直結した研修内容となっております。

特定行為研修修了者の皆様をサポートしていくことは、指定研修機関である当協会の責務です。是非とも多くの皆様に当協会のフォローアップ研修にご参加いただければ幸いです。

【開催概要】

◇日 程 平成30年10月27日(土) 13:00~18:45
28日(日) 9:00~15:20

◇場 所 東京研修センター(日本慢性期医療協会併設) <http://www.tky-kensyu.jp/>
東京都新宿区富久町1-5シャトレ市ヶ谷2階

◇参加対象 **特定行為研修修了者**

※下記の1~7の行為区分をすべて修了していることを条件とし、10月27日および10月28日の全日程の受講を必須とする。(部分参加不可)

- 1.呼吸器(人工呼吸療法に係るもの) 関連
- 2.呼吸器(長期呼吸療法に係るもの) 関連
- 3.創傷管理関連
- 4.栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- 5.感染に係る薬剤投与関連
- 6.血糖コントロールに係る薬剤投与関連
- 7.精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

◇定 員 60名 ※満席の場合は、参加申込用紙を受信後、平日3日以内にご連絡いたします。

◇参加費 日本慢性期医療協会会員12,000円/人 会員外20,000円/人 ※28日の昼食代を含む。

◇申込締切 平成30年10月12日(金)

◇申込方法 「参加申込用紙」に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

◇企 画 日本慢性期医療協会 看護師特定行為研修委員会

◇主 催 一般社団法人日本慢性期医療協会

〒162-0067 東京都新宿区富久町1-5シャトレ市ヶ谷2階

TEL.03-3355-3120 FAX.03-3355-3122

E-mail: info@jamcf.jp ホームページ <http://jamcf.jp>

日本慢性期医療協会

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

**日本慢性期医療協会 特定行為研修修了者フォローアップ研修
プログラム（予定）**

【日程】平成30年10月27日・28日（土・日）

【会場】東京研修センター（日本慢性期医療協会併設）

東京都新宿区富久町11-5シャトレ市ヶ谷2階 <http://www.tky-kensyu.jp/>

10月27日（土）

時 間	研修内容
13:00	フォローアップ研修開催の意義
13:15	矢野 諭 先生（看護師特定行為研修委員会・委員長）
13:15	実践演習Ⅰ：脱水症状に対する輸液による補正
14:15	井川誠一郎 先生（平成医療福祉グループ・診療本部長）
14:25	実践演習Ⅱ：精神及び神経症状に係る薬剤投与関連
15:25	清水祥史 先生（稲城台病院・回復期リハビリテーション病棟医師）
15:35	実践演習Ⅲ：インスリンの投与量の調整
16:35	伊井節子 先生（介護老人保健施設平成アメニティ・施設長）
16:45	シミュレーターを用いた実技研修Ⅰ
18:45	人工呼吸療法、気管カニューレの交換、褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去、創傷に対する陰圧閉鎖療法 (1日目のまとめ 質疑応答)
18:45	終了

10月28日（日）

時 間	研修内容
9:00	特別講義：「特定行為研修を修了した看護師に期待される役割と活動」（仮）
10:00	武久洋三 先生（日本慢性期医療協会・会長）
10:10	実践演習Ⅳ：持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
11:10	松本 悟 先生（豊中平成病院・院長）
11:20	実践演習Ⅴ：感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与
12:20	矢野 諭 先生（多摩川病院・理事長）
12:20	昼食休憩（昼食弁当あり）
13:10	
13:20	シミュレーターを用いた実技研修Ⅱ
15:20	人工呼吸療法、気管カニューレの交換、褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去、創傷に対する陰圧閉鎖療法 (本研修の総括)
15:20	終了

総合司会：進藤 晃 先生（大久野病院・理事長）



FAX 送信方向 FAX. 03-3355-3122 (日本慢性期医療協会)

特定行為研修修了者フォローアップ研修 参加申込用紙

(参加人数に応じ、本紙をコピーしてお申し込みください。)

〔申込締切〕平成30年10月12日(金)

※10月中旬頃、連絡担当者様あてに参加票と参加費請求書をお送りいたします。

※宿泊・交通の手配等は、各自でお願いいたします。

※満席の場合は、本参加申込用紙を受信後、平日3日以内にご連絡いたします。

〔参加対象〕特定行為研修修了者

※下記の1～7の行為区分をすべて修了していることを条件とし、10月27日および10月28日の全日程の受講を必須とする。(部分参加不可)

- 1.呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連、2.呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連、
- 3.創傷管理関連、4.栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、5.感染に係る薬剤投与関連、
- 6.血糖コントロールに係る薬剤投与関連、7.精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

下記に必要事項をご記入の上、該当する口にチェック✓をお願いいたします。

施設名

住 所

(〒 -)

TEL.

FAX.

連絡担当者

部署

E-mail

@

ふりがな 参加者氏名	(□ 男性・□ 女性)
参加者の部署・役職	
修了した指定研修機関の名称	
修了年および認定番号	修了年：平成_____年 認定番号：_____
<p>〈平成30年9月1か月間の特定行為実施患者数〉</p> <p>①侵襲的陽圧換気の設定の変更 () 人/月、②非侵襲的陽圧換気の設定の変更 () 人/月</p> <p>③人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 () 人/月、</p> <p>④人工呼吸器からの離脱 () 人/月、⑤気管カニューレの交換 () 人/月、</p> <p>⑥褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 () 人/月、</p> <p>⑦創傷に対する陰圧閉鎖療法 () 人/月、⑧持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 () 人/月、</p> <p>⑨脱水症状に対する輸液による補正 () 人/月、⑩感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与 () 人/月、</p> <p>⑪インスリンの投与量の調整 () 人/月、⑫抗けいれん剤の臨時的投与 () 人/月、</p> <p>⑬抗精神病薬の臨時的投与 () 人/月、⑭抗不安薬の臨時的投与 () 人/月</p>	